



インベストメント・チェーンの最適化に向けた企業・投資家の  
それぞれの役割、望ましい関係構築について  
(パネルディスカッション補足資料)

2021/1  
共同チーフ・インベスト  
メント・オフィサー  
藤井智朗

 **PRI in Person**

Lead Sponsor

Tokyo, 14-16 September 2021

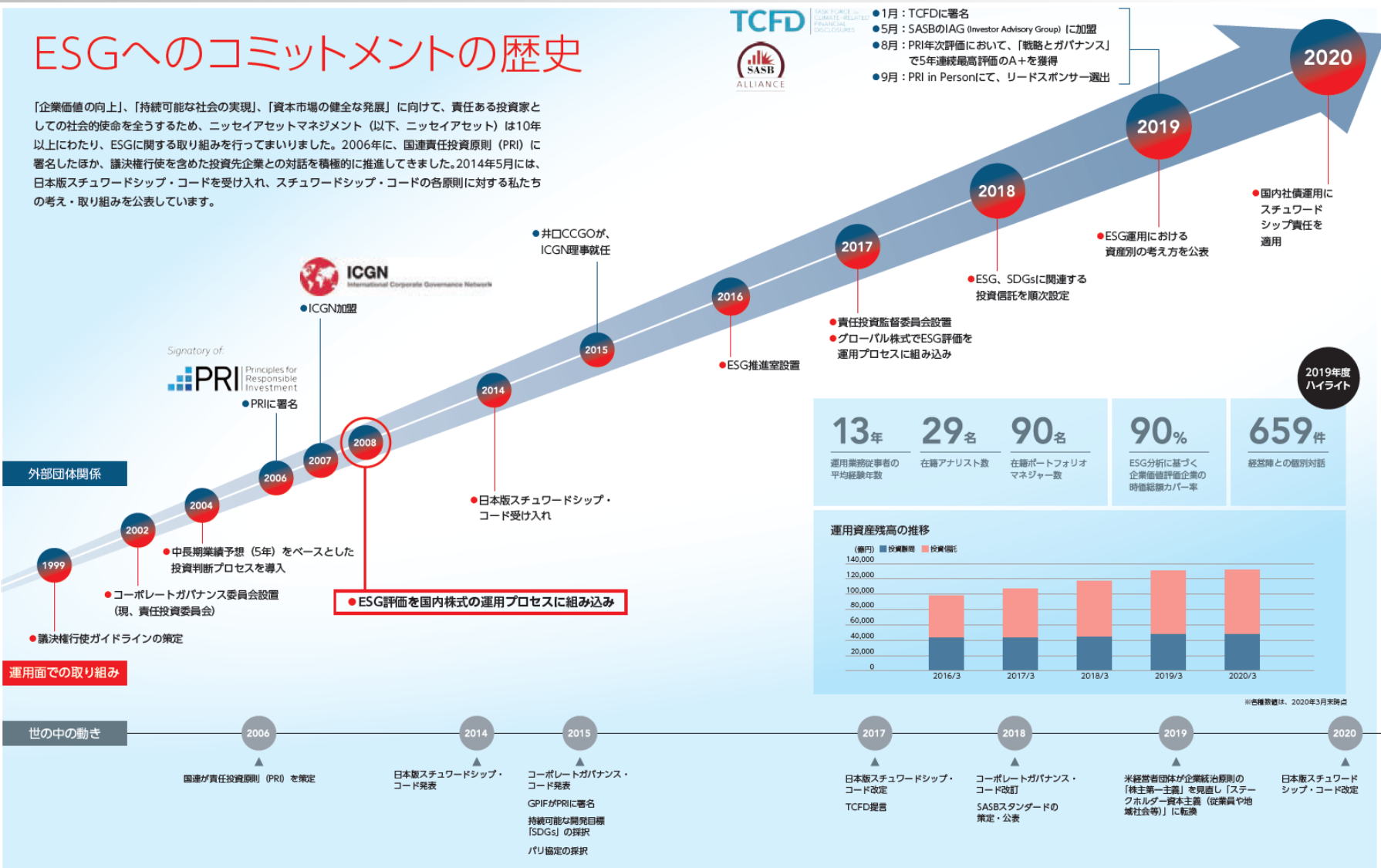
ニッセイアセットマネジメント株式会社  
Nissay Asset Management Corporation

All Rights Reserved. Copyright(c)2008,  
Nissay Asset Management Corporation.

# ニッセイアセットのESG投資に関するヒストリー

## ESGへのコミットメントの歴史

「企業価値の向上」、「持続可能な社会の実現」、「資本市場の健全な発展」に向けて、責任ある投資家としての社会的使命を全うするため、ニッセイアセットマネジメント（以下、ニッセイアセット）は10年以上にわたり、ESGに関する取り組みを行ってまいりました。2006年に、国連責任投資原則（PRI）に署名したほか、議決権行使を含めた投資先企業との対話を積極的に推進してきました。2014年5月には、日本版スチュワードシップ・コードを受け入れ、スチュワードシップ・コードの各原則に対する私たちの考え・取り組みを公表しています。



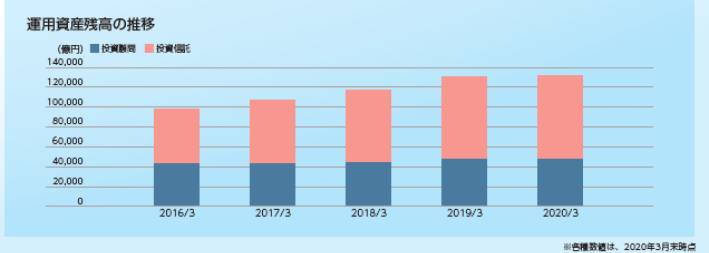
- 1月：TCFDに署名
- 5月：SASBのIAG (Investor Advisory Group) に加盟
- 8月：PRI年次評価において、「戦略とガバナンス」で5年連続最高評価のA+を獲得
- 9月：PRI in Personにて、リードスポンサー選出

### 外部団体関係

### 運用面での取り組み

### 世の中の動き

<b>13年</b> 運用業務従事者の平均経験年数	<b>29名</b> 在籍アナリスト数	<b>90名</b> 在籍ポートフォリオマネジャー数	<b>90%</b> ESG分析に基づく企業価値評価企業の時価総額カバー率	<b>659件</b> 経営陣との個別対話
------------------------------	------------------------	-------------------------------	--	--------------------------



(注) ニッセイアセットマネジメント「スチュワードシップレポート2020」より抜粋  
<https://www.nam.co.jp/company/responsibleinvestor/report.html>



# コロナ禍でのステュワードシップ活動について

## <コロナ発生後の変化>


◆ESGの視点があぶり出される1年に

- ①世界的に気候問題解決の気運高まる (E)
- ②働き方改革の加速 (S)
- ③ステークホルダー主義 (S)
- ④DX戦略と生産性向上 (G)
- ⑤リスク管理・対応力 (G)

## <ニッセイアセットの対応>

◆4月に右記方針を公表 (短期でなく中長期の議論)

- ①剰余金処分の議決権議案等で柔軟に対応
- ②社会変化を捉える対応・戦略変更
- ③上記5つの視点での議論



## News Release

ニッセイアセットマネジメント株式会社

2020年4月28日

**「新型コロナウイルス感染症」拡大に伴うステュワードシップ活動の方針について**

ニッセイアセットマネジメント株式会社（社長：大関洋、以下、「当社」）は、「受益者」の中長期的なリターン向上を目的とした調査・投資活動、ステュワードシップ活動を行っております。

当社では、議決権行使においても、中長期的な企業価値向上を念頭に、議決権行使基準の策定（最新版：2020年2月26日公表）および議決権の行使を行ってまいりましたが、このたびの「新型コロナウイルス感染症」の拡大に伴い、多くの経済活動がストップ・自粛されるなど異常な（平時でない）事態にあることを踏まえ、平時にもまして、中長期的な視点からの対応を行ってまいります。

具体的には、関係者の健康に配慮した運営が可能となる定時株主総会・継続会／バーチャル株主総会の開催に賛同するとともに、剰余金処分議案の賛否においては、企業の流動性枯渇リスクにも配慮し、その判断を適切に実施してまいります。このような取り組みは、今回のような異常事態における内部留保の過剰な流出を防ぎ、企業の持続的な成長に欠かせない、人材や研究開発・設備投資資金の確保につながるものと考えています。

また、当社ではこれまで投資先企業の持続的な成長力（サステナビリティ）を把握するための軸として、ESG評価を行うことが重要であると考え、2008年から当社独自のESG評価を運用プロセスに組み込み、中長期の業績予想の確信度を向上させるよう努めてまいりました。今般の異常事態を受けての経営環境の見通しと企業業績等に与える影響、企業価値維持・向上に向けた対応策（リモートワークなどを活用した企業活動の継続手法、顧客動向や社会環境の変化に伴う経営戦略の変更など）は、企業の持続的な成長において重要な事象になりうると考えており、投資先企業には積極的な情報開示をお願いしたいと考えています。このような開示を通じたベストプラクティスの共有化は、パンデミック状況における日本企業・社会全体のレジリエンス（回復力）を高めることにもつながると考えています。

当社は、引き続き責任ある機関投資家として求められる役割と責任を果たしてまいります。今後とも何卒宜しくお願い申し上げます。

●ご参考：国内株主議決権行使の方針と判断基準  
<https://www.nam.co.jp/company/responsibleinvestor/policy.html>

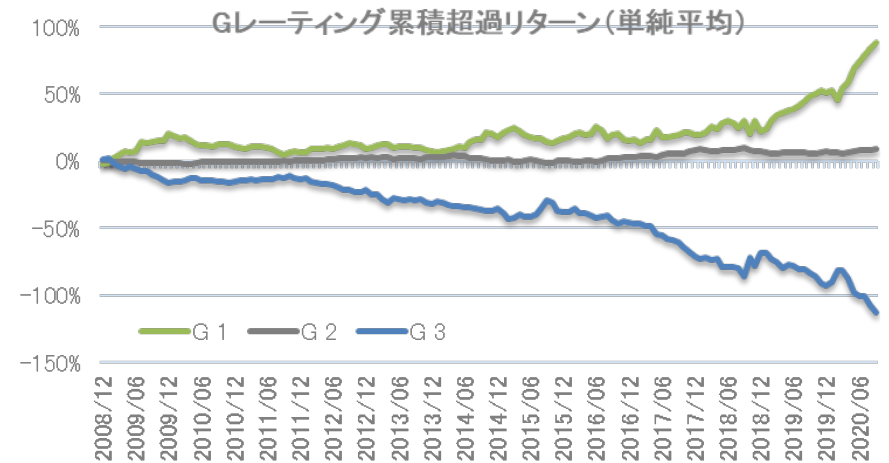
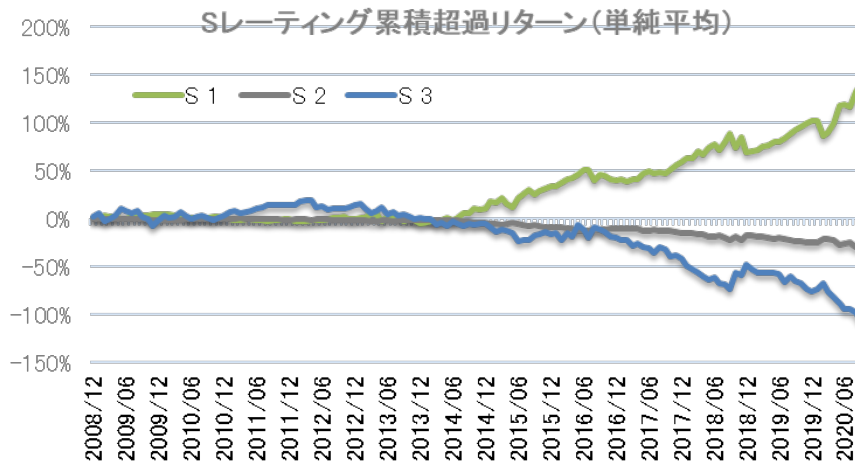
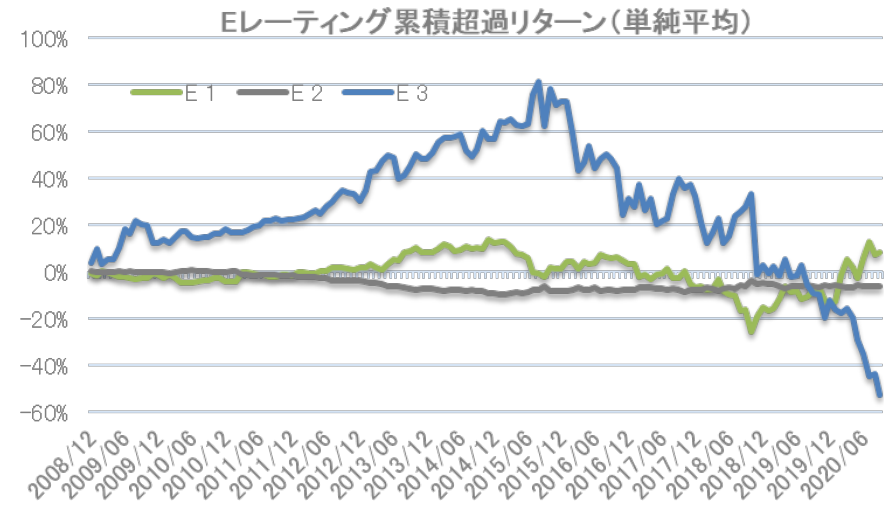
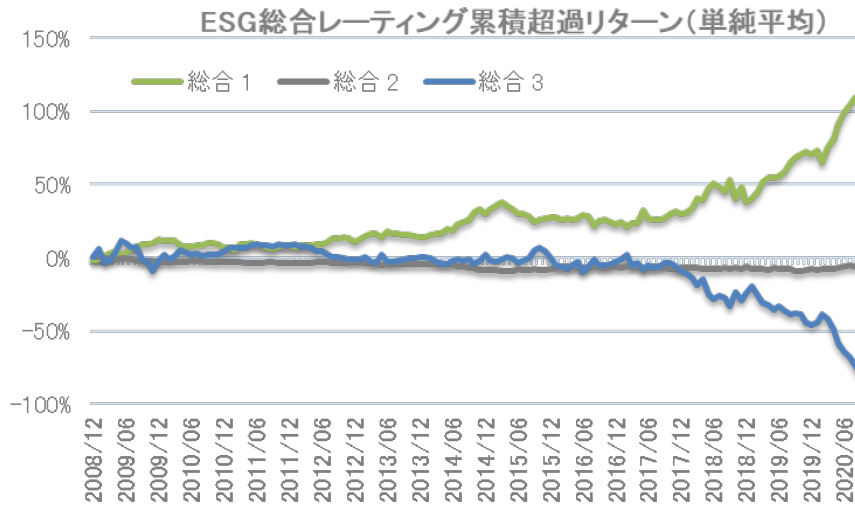
以上

ニッセイアセットマネジメント株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第369号  
加入協会：一般社団法人投資信託協会／一般社団法人日本投資顧問業協会  
審査確認番号：他2020-31

この件に関するお問い合わせは  
広報室／〒100-8219 東京都千代田区丸の内1-6-6 日本生命丸の内ビル  
Tel.03-5533-4037  
<https://www.nam.co.jp/>



# ESG評価のパフォーマンス



(注) 期間は2008/12～2020/9。レーティングが高い順に1,2,3 (4段階評価ですが、レーティング4は銘柄数が極めて少ないため、図表には記載しておりません)。2008/11末を0%とした対ユニバース (ESG付と銘柄群) 累積超過リターン。記載したデータは過去のインデックス等の試算結果で、市場環境によって変動し得るものであり、将来の利回りを保証するものではありません。

(出所) ニッセイアセットマネジメントが作成



- 当資料は制度あるいは仕組みのご説明と弊社がご提供できるサービスをご紹介するために作成したものです。予め特定の方向や対応を推奨する目的のものではありません。
- 市場見通し等は、お客様の運用方針や投資判断等の参考となる情報の提供を目的としたものです。実際の投資等に係る最終的な決定は、お客様ご自身のご判断で行っていただきますようお願い申し上げます。
- 当資料に記載された運用商品、手法等は、リスクを含みます。運用実績は市場環境等により変動し、運用成果（損益）は全て投資家の皆様のもとなります。元本が保証された商品、手法ではありません。
- 手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。
- 当資料は、現時点で信頼できると考えられる情報を基に作成しておりますが、情報の正確性や完全性を保証するものではありません。
- シミュレーションやバックテスト等は、参考データをご提供する目的で作成したものであり、将来の利回りを保証するものではありません。
- 当資料は、2021年1月現在で作成しております。
- 当資料に掲載したインデックスに関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、当該インデックスの公表元またはその許諾者に帰属します。
- 当資料に関わる一切の権利は、引用部分を除き弊社に属し、いかなる目的であれ当資料の一部または全部の無断での使用・複製は固くお断り致します。
- 当資料の内容に関しご不明な点等がございましたら、弊社担当者宛てご照会頂きますようお願い申し上げます。

ニッセイアセットマネジメント株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第369号  
一般社団法人 投資信託協会会員  
一般社団法人 日本投資顧問業協会会員

審査確認番号：2020-法企379